

平成24年度 シラバス	学年・期間・区分	3年生・通年・A群	
	対象学科・専攻	機械、電気電子、電子制御、情報、都市環境デザイン工学科	
政治・経済 (Politics and Economy)	担当教員		
	教員室		
	E-Mail		
教育形態／単位の種別／単位数	講義 / 履修単位 / 2単位		
週あたりの学習時間と回数	[授業 (100分)] × 30回		
<p>[本科目の目標] 人間の日常生活は、国内の政治や経済、さらには国際社会における政治や経済の動向に影響を受けている。そこで本講義は政治や経済についての基礎的知識をもとに、現代社会における政治や経済の様々な問題に対応するための考え方やらびにその捉え方の習得を目標とする。</p>			
<p>[本科目の位置付け] 本科目では、4年次で学習する社会概説Ⅱ、5年次で学習する法学Ⅰ・Ⅱ、経済学、政治学の基礎となる分野を総合的に学習する。</p>			
<p>[学習上の留意点] 講義は、配布するプリントに従って行い、講義の内容の理解度を高めるため、適宜小テストを行う。また、本講義においては、現在の政治・経済の動向を知ること極めて重要な事項であるから、新聞やテレビのニュース番組等により情報を収集して講義に臨むこと。</p>			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
I 現代の政治			
1. 民主主義の基本原則	4	□ 政治とは何か、近代国家における民主主義を支える諸原則、各国の政治体制の特徴、民主主義における法の支配の原理について理解することができる。	教科書p.2～p.9を読んで、事業項目の概要を把握しておく。
2. 立憲主義と日本国憲法の基本原則	2	□ 立憲主義、日本における立憲主義の成立、日本国憲法の基本原則を理解することができる。	教科書p.10～p.15を読んで、事業項目の概要を把握しておく。
3. 日本の民主政治のしくみ	4	□ わが国の統治機構の特徴、平和主義の原則について理解することができる。	教科書p.16～p.27を読んで、事業項目の概要を把握しておく。
4. 基本的人権の保障 (1)	2	□ 基本的人権の意義と種類、平等権について理解することができる。	教科書p.28～p.29を読んで、事業項目の概要を把握しておく。
5. 基本的人権の保障 (2)	4	□ 国家からの自由、国家による自由についてその内容と課題を理解することができる。	教科書p.30～p.31を読んで、事業項目の概要を把握しておく。
6. 基本的人権の保障 (3)	2	□ 新しい人権の意義と問題について理解することができる。	教科書p.34～p.35を読んで、事業項目の概要を把握しておく。
--- 前期中間試験 ---		項目 I - 1～6について達成度を確認する。	
	2		
7. 現代政治の実態 (1)		□ 政党政治の現代的意義を理解することができる。	教科書p.36～p.37を読んで、事業項目の概要を把握しておく。
	4		
8. 現代政治の実態 (2)		□ 民主政治と選挙との関係、行政機能の拡大、大きな政府と小さな政府、地方自治のあり方、国民の政治参加のあり方について理解することができる。	教科書p.38～p.43を読んで、事業項目の概要を把握しておく。
	2		
9. 国際政治のしくみと戦後の国際政治の動向		□ 国際政治の特質、二つの世界と第三世界、冷戦終結後の世界の動向(人種・民族問題、経済格差の問題、経済摩擦の問題を含む)を理解することができる。	教科書p.44～p.51を読んで、事業項目の概要を把握しておく。
	2		
10. 国際法と国際平和		□ 国際法の意義、主権国家と領土問題、国際連語の成立と展開、国際的人権保障の動き、平和のための国際的取組み(軍縮なども含む)について理解することができる。	教科書p.52～p.64を読んで、事業項目の概要を把握しておく。
	2		
--- 前期期末試験 --- 試験答案の返却・解説		項目 I - 7～10について達成度を確認する。 試験答案の解説を行なうことで、誤った部分を理解できる。	
		>>> 次頁へつづく >>>	

